

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年2月2日(2017.2.2)

【公表番号】特表2016-505691(P2016-505691A)

【公表日】平成28年2月25日(2016.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-012

【出願番号】特願2015-550676(P2015-550676)

【国際特許分類】

C 08 L	83/07	(2006.01)
C 08 L	83/05	(2006.01)
C 08 K	3/22	(2006.01)
C 08 K	3/38	(2006.01)
C 08 J	5/00	(2006.01)
H 01 L	23/29	(2006.01)
H 01 L	23/31	(2006.01)
H 01 L	33/60	(2010.01)
H 01 L	31/12	(2006.01)

【F I】

C 08 L	83/07	
C 08 L	83/05	
C 08 K	3/22	
C 08 K	3/38	
C 08 J	5/00	C F H
H 01 L	23/30	F
H 01 L	33/00	4 3 2
H 01 L	31/12	A

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月12日(2016.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

物品を形成するためのヒドロシリル化硬化性シリコーン組成物であって、

(A) $R^1SiO_{3/2}$ 単位及び/又は $SiO_{4/2}$ 単位を $R^1_3SiO_{1/2}$ 単位及び/又は $R^1_2SiO_{2/2}$ 単位と組み合わせて含むシリコーン樹脂[式中、 R^1 は、独立して、脂肪族不飽和を含まない置換又は非置換 $C_1 \sim C_{10}$ ヒドロカルビル基、アルケニル基、又は水素原子であり、但し、前記シリコーン樹脂(A)は、1分子当たり少なくとも2つのケイ素結合アルケニル基又は少なくとも2つのケイ素結合水素原子を含有する]と、

(B) 1分子当たり平均して少なくとも2つのケイ素結合水素原子又は少なくとも2つのケイ素結合アルケニル基を有する有機ケイ素化合物[但し、前記シリコーン樹脂(A)がケイ素結合アルケニル基を含有するとき、前記有機ケイ素化合物(B)は1分子当たり少なくとも2つのケイ素結合水素原子を含有し、前記シリコーン樹脂(A)がケイ素結合水素原子を含有するとき、前記有機ケイ素化合物(B)は1分子当たり少なくとも2つのケイ素結合アルケニル基を含有する]と、

(C) ヒドロシリル化触媒と、

(D) 前記組成物 100 重量部に基づき少なくとも 15 重量部の水酸化アルミニウムをもたらす量で前記水酸化アルミニウムを含む難燃剤成分と、

(E) 成分 (D) とは異なるものであり、かつ前記組成物 100 重量部に基づき 15 重量部以下の二酸化チタンをもたらす量で前記二酸化チタンを含む、反射成分と、

(G) 1 分子当たり少なくとも 2 つのケイ素結合アルケニル基又は 1 分子当たり少なくとも 2 つのケイ素結合水素原子を有するオルガノポリシロキサンポリマー流体を含む、シリコーン組成物。

【請求項 2】

成分 (D) 及び (E) とは異なる充填剤 (F) を更に含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

物品を形成するためのヒドロシリル化硬化性シリコーン組成物であつて、

(A) $R^1 SiO_{3/2}$ 単位及び / 又は $SiO_{4/2}$ 単位を $R^1_3 SiO_{1/2}$ 単位及び / 又は $R^1_2 SiO_{2/2}$ 単位と組み合わせて含むシリコーン樹脂 [式中、 R^1 は、独立して、脂肪族不飽和を含まない置換又は非置換 $C_1 \sim C_{10}$ ヒドロカルビル基、アルケニル基、又は水素原子であり、但し、前記シリコーン樹脂 (A) は、1 分子当たり少なくとも 2 つのケイ素結合アルケニル基又は少なくとも 2 つのケイ素結合水素原子を含有する] と、

(B) 1 分子当たり平均して少なくとも 2 つのケイ素結合水素原子又は少なくとも 2 つのケイ素結合アルケニル基を有する有機ケイ素化合物 [但し、前記シリコーン樹脂 (A) がケイ素結合アルケニル基を含有するとき、前記有機ケイ素化合物 (B) は 1 分子当たり少なくとも 2 つのケイ素結合水素原子を含有し、前記シリコーン樹脂 (A) がケイ素結合水素原子を含有するとき、前記有機ケイ素化合物 (B) は 1 分子当たり少なくとも 2 つのケイ素結合アルケニル基を含有する] と、

(C) ヒドロシリル化触媒と、

(D) 前記組成物 100 重量部に基づき少なくとも 15 重量部の水酸化アルミニウムをもたらす量で前記水酸化アルミニウムを含む難燃剤成分と、

(E) 成分 (D) とは異なるものであり、かつ前記組成物 100 重量部に基づき少なくとも 2 重量部で且つ 15 重量部以下の二酸化チタンをもたらす量で前記二酸化チタンを含む、反射成分と、

を含み、前記シリコーン樹脂 (A) が、MQ 樹脂を含む、又は、前記有機ケイ素化合物 (B) が、MQ 樹脂を含む、シリコーン組成物。

【請求項 4】

成分 (D) 及び (E) とは異なる充填剤 (F) を更に含む、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

成分 (F) が酸化亜鉛、窒化ホウ素、及びアルミナから選択される、請求項 2 又は 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

成分 (D) が水酸化マグネシウムを更に含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物から形成された物品。

【請求項 8】

光学装置用途での請求項 7 に記載の物品の使用。

【請求項 9】

混合室、反射装置、LED ハウジング、光エンジン、反射板、光導体、光学カメラ、フォトカプラ、電荷結合素子、感光素子、又は導波路における、請求項 7 に記載の物品の使用。

【請求項 10】

UL 94 に従って測定したときに、3 ミリメートルの厚さにて難燃性分類 V - 0 を達成

する、請求項7に記載の物品。

【請求項11】

厚さ3ミリメートルにて、かつ430～700ナノメートルの波長にて、少なくとも90%の反射率を有する、請求項7又は10に記載の物品。

【請求項12】

成型品の形成方法であって、

請求項1～6のいずれか一項に記載の組成物を成形型内に配置する工程と、

前記成形型内の前記組成物を硬化させて前記成型品を形成する工程と、を含む、形成方法。